

世界に平和を・人類に共生を



世界連邦

2013年8月(No.95)

発行責任者 世界連邦運動協会松山支部
支部長 窪田大作

平成25年5月25日、コムズ三階第3会議室で総会が行われました

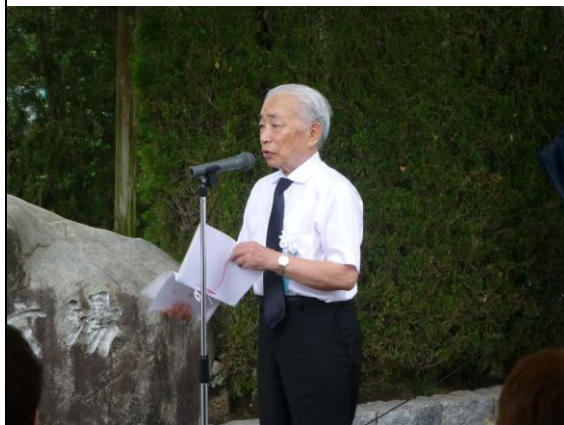
塩崎顧問の名代、秘書と松山市民参画まちづくり課から課長と主査の来賓を頂きまして、平成24年度事業及び決算監査報告に引き続いて、平成25年度事業計画及び予算の審議が行われました。この総会では明後年に開催予定の日本大会についても活発な質疑が行われ、ひめぎんホールにおいて平成27年8月16日に世界連邦運動協会日本大会に向けて頑張る決議を行いました。会員の皆様には大会成功に向けて、一層の参加協力をお願い致します。

～平成25年度～松山市戦争犠牲者平和祈念追悼式

松山空襲のあった7月26日に、元々世界連邦運動協会松山支部と松山市が行っていた祈念追悼式を8団体による祈念実行委員会主催による松山市戦争犠牲者平和祈念追悼式が道後媛塚にある松山市平和祈念広場にて、黙祷の後、我が松山支部顧問でもある祈念委員長中山淳氏による開会の式辞が述べられた。

次いで野志克仁松山市長による供花・追悼のことはを賜り、遺族代表の大濱カズ子氏による追悼のことはが述べられました。

電報披露の後、昨年松山支部入賞・本部佳作の作文「平和へのパトン」の朗読があり、会場の人々がより恒久平和を願う雰囲気が醸し出され、祈念追悼式を盛り上げました。



その後、献歌を平中見当吏さんが「小さな空」を全員で「この街で」を合唱し、故人の霊に捧げました。

次に、献花に移り、市長から始まり、来賓、出席者が次々と御霊に献花をして、式典は終了しました。



昨年入賞のポスター・作文を展示しました

写真の左端に世界連邦運動の旗を作りました。上に「世界法による世界平和」その下に丸い地球、その下にはWFOのマーク、その下に青色で「世界連邦運動」その右に赤字で「子供達の未来」左に同じく赤字で「地球市民の安全保障」と書かれていて、まさに我々が真剣に願っている言葉が全て入っている我々の象徴とも言えるものが出来上がりました。この旗を見た子供たちやお母さん達が「この世界連邦の旗良いですね。この地球を見たら、何をしなくてはいけなかが分りますね。」と口々に、我々は強力な武器を手に入れた。この武器を手、運動の加速を達成する使命感にあふれる。

7月24日から31日まで例年どおり、松山市主催で松山市コミュニティセンター一階コミュニティプラザで多くの団体が夫々に平和に纏わる展示物が催されました。我が世界連邦運動協会松山支部でも、昨年度の入賞作品を展示致しますと共に、協賛企業の協力を得て、「世界連邦を創ろう」世界地図を配布致しました。

会場には多くの幼児や児童が先生や父兄に引率されて来場して、平和に対する尊さに改めて想いを深めている様子に、展示をした我々もその使命を果たしたと言う充実感を得たものであります。

四国発！松山支部の実践活動！

昨年9月1日に高松で行われた世界連邦運動協会四国ブロック協議会の席上で松山での日本大会をやってはどうかとの提案を受けた。松山支部では窪田支部長の下、福崎・足立・上田・松岡・桑島・三村・松本の8名が実践部隊として諸所で活躍しています。



私達は左に掲げた「世界連邦を創ろう」世界地図を作りました。この地図を作って確実に運動は広がっております。この地図を使って認知度を上げるだけでなく、これの英語版やポルトガル語版等を作成し、開発途上国で活躍する企業等の協力も得て、学びたくとも学べない児童に配布する事により、夫々の子供たちに地球市民の一員であるという自覚を促す活動に繋げていこうとしています。平等な地球市民としての権利を保障し、お互いが同じ法の下で平等な地球市民が助け合う制度実現に奮闘したく考えます。共に生きよう キーワードは「つなげる」「つなぐ」

6月には出雲市で「ジョン万次郎が支える日米交流」に参加し、多くの人々に世界連邦運動が意識付けられたと考えます。

1頁で紹介した世界連邦の旗を坊ちゃん広場で立てて生まれて初の演説をぶったのもこの頃の話です。

8月2日は本部執行役員会で発言を求められて、足立・桑島2名が出向きました。多くの同友と親交を深められたのは収穫でした。その翌日、桑島氏は東京新宿で世界連邦の旗を立て、街頭演説をぶちました。

8月6日は朝4時半に松山を出て、7時過ぎには平和公園へ行き、旗を手で持って街頭演説を敢行致しました。広島での収穫は、反戦・反政府論者で知られるオリバー・ストーン監督と出会えた事でした。彼は「原爆投下は間違っていた。私はそれに対して謝りたい」との声明が直接聞けたことにあります。四国発の実践行動で世界連邦運動は大きく流れを変えた！

21世紀に入っても、国益に必要な資源の争奪を巡って世界の各地では代理戦争に明け暮れています。日本でも衆参両院で自民党が圧勝を受けてでさえ、憲法96条を変える案がストップしています。今、世界中で貧富の格差が広がっており、アラブの春に端を発したエジプトやブラジルにおける既得権益層に対する怒りとして住民パワーが爆発しております。若者の失業率の高さは、現状の支配体制の限界を示すものであり、この住民パワーの広がりこそ世界がひとつになっていく兆しであり、それらを法による統治を謳う世界連合の実現が待たれていると感じ、この四国発での住民運動に繋げ、世界連邦実現を勝ち取る所存であります。



新宿での桑島氏



8月6日広島 窪田 足立 桑島 松本